

平成 29 年 5 月 26 日

## 平成 28 年度ルピナス会本部事業報告

(総務課)

### 1 理事会・評議員会、監査

#### (1) 理事会・評議員会新体制の確立

理事会、評議員ともに 5 回開催、法人運営上の諸問題について審議をいただき、適切な運営上の決定をいただくとともに、法改正に伴う（平成 29 年度 4 月 1 日付）新たな理事会、評議員会体制を確立しました。

#### (2) 幹事監査

本部を含め、各施設等に対する監事監査を実施、運営の細部について監査をいただきました。

#### (3) 県監査（実地指導）

ルピナス園、神川ホーム、鴻巣ホームに対する県監査がおこなわれ、何れも大きな指摘事項等なく適切な評価をいただきました。

### 2 会議等における職員教養の実施と法人発展へ向けた取り組み

(1) 幹部会議（所長、次長以上出席の定例会）により、積極的に諸問題の解決に取り組みました。

(2) 採用時教養や各種会議における職場教養を通じ、規律ある意識のもと法人内が統一化された考えで運営がなされるよう努めました。

(3) 施設拡大に向け積極的に取り組むなど、今後の法人発展へ向けた積み重ねを行いました。

### 3 職員活用、処遇への努力

(1) 資格所持者に拘った採用姿勢から、育成による人材確保へと採用戦略を一部改めたことにともない、高校新卒者の採用幅が広がり、新たな入職者を迎え入れることに成功しました。

(2) 適材適所を基本とする人事異動により、人材の有効活用に努めました。

(3) 研修旅行、ボーリング大会、法人新年会、永年表彰等の企画を行うとともに、多様な働き方のできる職場の実現に努めました。

### 4 定款、規則、規程関係（変更及び一部改正）

適切に実施しました。

(財務課)

### 1 経営状況の分析と指導を実施しました。

ア 各施設における半期ごとの経営状況の分析

イ 年度末三期連続事業活動収支の比較分析

### 2 コンプライアンスの徹底に努めました。

## ルピナス園事業報告

### 主な事業報告

#### 1 職員の資質の向上

各種研修会への参加や施設内研修により、知識と技術の向上に努めた。介護職員のスキルアップを図るべく、労働局推奨の「キャリアアップ」制度に参画、喀痰吸引等研修を設定し約8カ月の取組により県知事認定証を新たに5名取得した。また、介護福祉士の国家資格に2名が挑戦し両名とも合格を果たした。

#### 2 地域社会との連携

地域に根ざした施設として、引き続き「彩の国あんしんセーフティネット事業」に参画し地域の福祉課題に対応するとともに、近隣住民との連携を図るべく、ルピナス園防災訓練に地域ボランティア組織「地域交流ホーム」を招き交流を図った。

#### 3 人材の確保

労働局推奨の「キャリアアップ」制度に参画し、非正規雇用の職員を正規雇用へ転換を図りました。今後も職員の意欲・能力向上のため継続していきます。また職員の職場定着を支援するため新たに労働局推奨の職場定着助成事業に参画し介護福祉機器（エアーマット5台）の導入を実施した。

#### 4 施設整備について

利用者様が、安心安全で快適な生活が送れるよう環境整備や施設設備機器の故障・修繕に対応した。特に浴室整備の修繕については、ボイラーの構成を変更し、エコロジーで効率的なお湯の供給を図り、より快適なサービス提供に努めた。

#### 5 上里町リハビリ体操送迎事業について

かみさとナーシングホームと連携して毎週水曜日送迎事業を行った。

#### 6 利用者の状況（平成29年3月31日現在）

##### (1) 平均年齢

	最低年齢	最高年齢	平均年齢	全体平均
男性	71歳	89歳	88.2歳	90.7歳
女性	70歳	99歳	91.5歳	

##### (2) 総入所者数

男性 18名 女性 55名 合計 73名

平均入所者数 77.5名  
 平均入所期間 3年4か月  
 延入所者数 27,192人  
 稼働率 93.1%

(3) 入退所状況

区分	男	女	計	備考
入所	16人	17人	33人	施設14 病院13 在宅6
退所	17人	18人	35人	死亡27 入院6 転所2

(4) 平均介護度

介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均介護度
1	5	21	21	25	73	3.87

(5) 職員の職種・人数

		職員数	施設長	事務員	相談員	介護職	看護職	機能訓練	栄養士	ケアマネ	用務
H27	常勤	32	1	2	2	21	3	1	1	1	
	非常勤	6				6					2
	合計	38	1	2		27	3	1	1	1	2
H28	常勤	30	1	2	2	19	3	1	1	1	
	非常勤	7				6	1				2
	合計	37	1	2	2	25	4	1	1	1	2
増減		-1	0	0	0	-2	1	0	0	0	0

## 平成 28 年度かみさとデイサービスセンター事業報告

平成 28 年度も、理学療法士によるリハビリを継続、多くの利用者様からの好評価を得られております。また、居宅支援事業者を訪問して各種の情報交換を継続的に実施、利用者の増加にも努めました。

認知症予防対策としては、「歌体操」「知的プリント」「各工作」「集団リハ」「各ゲーム」等を継続的に実施し、利用者様の集中力等の変化を把握するとともに予防対策の計画に役立てました。

流行性のウイルスに対する予防・注意としては、利用者様とご家族へ予防法の啓蒙プリントを配布しました。

ボランティアによる園内レクリエーション実施時には、ご家族様にも参加を集うなど、通所介護の上で大切な利用者様と介護者、職員との交流の場の提供ができました。各季節に合わせたレク（流しそうめん・花見・運動会・クリスマス会等）の開催。昨年からのカラオケの機器の導入も利用者様に大変喜ばれております。

年 2 回利用者参加の防災避難訓練にも取り組みました。

### ○ 利用者状況(前年対比)

	27 年度	28 年度	増 減
利用者人数の合計	3,584 人	3,985 人	401 人
稼 動 率	59%	65.3%	6.3%
平均利用者数／1 日	11.8 人	13 人	1.2 人

○ 男女別利用者数 3,985 人 男子 1,349 人 女子 2,636 人

### ○ 介護度別利用者数

総合事業 1 名 要支援 1 1 名 要支援 2 1 名 要介護 1 18 名

要介護 2 5 名 要介護 3 5 名 要介護 4 1 名 要介護 5 2 名 計 34 名

○ 平均年齢 82.6 歳 利用者最高年齢 101 歳 平均通所利用期間 3.3 年

### ○ 通所入退所状況

入所 9 人

退所 10 人(ルピナス園 4 名 他通所施設 1 人 他入所施設 2 名 自宅 1 名 死亡 2 名)

### ○ 職員職種、人数

前年対比

管理者	1 名常勤	0 人
相談員	1 名常勤	0 人
機能訓練指導員	1 名常勤	0 人
看護師(準)	2 名非常勤	+0.9 人
介護員	5 名(常勤 2 非常勤 3 名)	-1.5 人

## 平成28年度かみさと居宅介護支援事業所事業報告

平成28年度も地域の人々、施設、各市町村行政へ新規利用者増加の依頼を行いました。また、担当している要介護者等のケアプランを再度見直し、個々のニーズに合ったケアプラン作成と地域の方々とのコンセンサスを密に図り、利用者様・ご家族との信頼につながるよう推進してきました。

かみさと居宅介護支援事業所担当延件数			
項目	平成28年度	前年度	増減
担当延べ件数	518	481	37

## 平成 28 年度ルピナス神川ホーム事業報告

利用者主体の福祉サービスを基本方針と捉え、各職員が連携・協力しながら利用者様の安心安全な生活が保障される環境作り及び社会貢献活動の推進を図り、より良いサービスの提供に努めました。

### ○ 生活介護、入所支援の充実

利用者様の意向を踏まえた個別支援計画の作成を行い、サービスの実現や評価に努めました。また、継続的に実施している外出レクについても、企画内容の充実に努め、「楽しかったよ。今度は美味しい物が食べたいな」など利用者様から声を頂き、満足度の向上に繋がっている。

### ○ 各種委員会活動の向上

業務改善の継続を図り、利用者様の信頼と納得が得られるよう介護サービスの充実に取り組みました。また事故防止委員会ではマニュアル（誤薬、入浴、事故対応）の見直しを行い、事故防止対策に努めました。

### ○ 地域への生活移行（自立）の実現

平成 26 年 5 月から開所された指定特定相談支援事業所（ルピナス神川ホーム）と連携し、社会資源の活用や環境整備、自己の能力向上に努めました。

### ○ 災害（火災等）防止対策の強化

建物、機械、防災用具などの点検整備を定期的に行い、防災計画に基づく消防署職員立ち会いによる防災訓練（年 2 回、昼間、夜間想定）、緊急連絡網訓練を実施し、有事に備えた安全対策に努めました。

### ○ その他

#### ・ 社会貢献への積極的努力

平成 26 年度から開始した「彩の国あんしんセーフティーネット」事業へ参画し社会福祉活動へ積極的に取り組みました。

#### ・ 防犯対策の取組み

神奈川県障害者施設における殺傷事件を受け、利用者様の安全確保を図るため、不審者への対応として、さすまた訓練及び緊急連絡網による伝達訓練を実施し、日頃からの防犯に対する意識向上に努めました。

#### ・ 短期入所（空床型）受入れ

行政や在宅利用者様からの緊急依頼にも可能な限り受入れ、地域貢献に努めました。

### ○ 利用者、職員状況（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日）

- ・ 総入所数 男性 38 人 女性 12 人 総利用者数 17,558 人
- ・ 入退所数 入所数 男性 2 人 女性 3 人 退所数 男性 1 人
- ・ 平均障害支援区分 5.4 平均年齢 60.2 歳 最高年齢 83 歳
- ・ 平均入所期間 12.8 年
- ・ 職員（前年比）  
支援員 25 人 3 人減 看護師 8 人 3 人減 事務員 4 人 1 人増  
医師 2 人 1 人増

## 平成 28 年度かみさとナーシングホーム事業報告書

### 1 事業概要

平成 28 年度は開設後、初めて大規模な修繕（外構工事・廊下の幅木・ナースコール等）を行い、ご利用者にとって快適に過ごせますよう環境を整えました。

運営につきましては、年間稼働率目標の 90%にもう少しの所で達成する事ができました。特に下半期は相談員等の営業努力により 93%と開設以来の高稼働率を達成する事ができました。通所リハビリは 95%と安定した運営を維持できております。

地域包括ケアについては自治体、医療機関、居宅支援事業所等と連携し一步一步着実に推進する事ができました。

### 2 人員体制

かみさとナーシングホーム職員			
	平成 28 年度	前年度	増減
増減項目	63	60	3

### 3 利用状況

#### ① 入所・ショート

項目（入所）	平成 28 年度	前年度	増減	項目（短期入所）	平成 28 年度	前年度	増減
新規利用者数	139	113	26	延べ人数	3,493	2,714	779
退所者数	125	118	7	平均介護度	3.2	3.0	0.2
延べ人数	22,684	21,984	736	平均年齢	84.3	89	-4.7
稼働率（%）	89.6	84.3	5.3	平均入所期間	7.1	14.7	-7.6
在宅復帰率（%）	36.8	52.3	-15.5	平成 29 年 3 月 31 日 男性 2 人 女性 5 人 計 7 人			
平均介護度	2.7	2.7	0				
平均年齢	85.9	84.3	1.6				
平均入所期間（日）	236	243.7	7				
平成 29 年 3 月 31 日 男性 22 人女性 47 人 計 69 人							
最高年齢 97 歳							

#### ② 通所リハビリ

項目（通所リハ）	平成 28 年度	前年度	増減	項目（訪問リハ）	平成 28 年度	前年度	増減
延べ人数	5,744	5,608	136	延べ人数	394	372	22
稼働率	95%	92.2	2.8	平均介護度	3.7	3.7	0
平均介護度	1.9	1.8	0.1	平均年齢	76.4	65.2	11.2
平均年齢	81.1	80.4	0.7	平成 29 年 3 月 31 日 男生 1 人 女性 1 人 計 2 人			
平成 29 年 3 月 31 日 男性 11 人 女性 10 人計 21 人							

③ 居宅介護支援事業

かみさとナーシングホーム居宅支援事業所			
項目	平成 28 年度	前年度	増減
担当延べ件数	1,881	1,847	34

④ その他

災害発生訓練 年 2 回（平成 28 年 10 月 28 日 平成 29 年 3 月 30 日）

職員研修 年 8 回実施（内容：身体拘束・虐待・接遇・AED・ノロ対応等）

・全国介護老人保健施設大阪大会研究発表 平成 28 年 9 月 14～16 日

発表者 森本 C/W 「ストレスのない職場づくり～接遇向上を目指して～」

・埼玉県介護老人保健施設大会発表 平成 29 年 2 月 9 日

発表者 小島 P T 「入所時評価マニュアルの作成～職員の目的意識統一を目指して」

家族介護教室 年 3 回実施

平成 28 年 7 月 16 日 在宅における高齢者の排泄と口腔ケアの重要性

講師 白十字 原 基成氏

平成 28 年 12 月 3 日 認知症を理解しましょう～認知症サポーター養成～

講師 栄華の里 根岸 英衣氏

平成 29 年 3 月 11 日 美味しく食べよう減塩食

講師 管理栄養士 芳賀 真琴

## 平成 28 年度かみさとナーシングステーション事業報告

### 1 事業概要

昨年夏より、ご利用者の施設入所（サービス付き高齢者専用住宅等）や病状悪化による入院により、ご利用者様の利用が著しく減少してしまいました。稼働率向上のため、営業を本庄市・美里町にも拡大し行っておりますが、大変厳しい状況であります。

地域包括ケアシステムの構築が叫ばれている現在ですので、地域生活になくってはならない訪問介護を継続しております。

### 2 体制

事業所加算Ⅱ

常勤職員 3 名（産休中の職員が平成 29 年 2 月より復帰）

非常勤職員 3 名のうち 2 名契約終了

### 3 利用状況

かみさとナーシングステーション稼働状況				
項目	平成28年度	前年度	増減	
新規利用者数	18	12	6	
訪問介護実人数(月平均)	27	28	-1	
訪問回数(延回数)	3679	4600	-921	
平均介護度	2.4	2.6	-0.2	
内訳 男	1.7	2.4	-0.7	
女	2.9	2.7	0.2	
身体介護	1039	1298	-259	
身体生活	941	1223	-282	
生活支援	1147	1677	-530	
介護予防	32	366	-334	
訪問型みなし	520	23	497	

### 4 その他

①災害発生訓練を実施（老健と同時）

②車両管理徹底（毎月の管理）

交通事故防止対策の徹底

## 平成 28 年度ルピナス鴻巣ホーム事業報告

### 1 個別支援計画の「質」の向上とサービス等利用計画との連携

平成 28 年度は、相談支援事業所が作成するサービス等利用計画とも連携して支援を実施しました。今年度の相談支援事業所が契約する利用者は 92 名でした。(ルピナス鴻巣ホーム利用者 50 名中 43 名が契約)

### 2 職員研修の充実

鴻巣ホームが取り入れている SST (ソーシャル・スキル・トレーニング) については計画的に講習会等を受講しました。

感覚刺激空間を用いてリラクゼーション活動を提供するスヌーズレンについて、1 階の多目的室でもスヌーズレンが利用できるようにしました。資器材の充実を図るとともにスヌーズレン研修を受講しました。

また、利用者への支援を充実させるため強度行動障害支援者養成講習を受講するなど、各種研修の受講を行いました。

今年度、職員 2 名が介護福祉士の資格を取得しました。

### 3 施設整備

平成 28 年度も、ワックス清掃等の定期的なメンテナンスと日頃からのクリーン活動を実施しました。また大型洗濯機・大型乾燥器の入替えや車両の購入、カーテンの入替え工事の実施などの施設整備を実施しました。

### 4 施設利用率の向上・あんしんセーフティーネット事業への参加

彩の国あんしんセーフティーネット事業では、生活困窮者に対する 2 件の支援を実施しました。

### 5 その他

#### ○ 総入所者数・総利用者数

施設入所支援延日数 17,612 日 生活介護利用延べ日数 13,257 日

ショート利用者延日数 294 日

#### ○ 入退所状況～平成 28 年度は入退所なし

○ 平均障害支援区分 5.1 ○ 平均年齢 44 歳 ○ 最高年齢 70 歳

○ 平均入所期間 15.7 年

#### ○ 職員の人数 昨年との比較

平成 29 年 3 月 31 日時点、職員数 37 名

(施設長 1、統括課長職 1、課長職 3、係長職 3、主任職 3、係員 26)

平成 28 年 3 月 31 日時点 職員数 40 名

## 平成29年度 特別養護老人ホームルピナス園事業計画

利用者個々の心身の状態に合わせた個別ケアにより、生活の質の向上を目指すことを目標に、利用者・家族から信頼され満足していただけるサービスを提供していく。

今年度の重点目標として、

### 1 職員の資質の向上

各種研修会の積極的な参加により自己啓発を図り、各委員会を中心に施設内研修により知識と技術の向上に努めるとともにプロ意識を醸成する。

### 2 地域社会との連携

不時の災害時（地震・風水害・火災等）に、地元自治会との協調を図り、相互に援助活動を行うことにより、損害を未然に防止あるいは最小限にとどめる。防災訓練に消防機関、地域住民の立会依頼し連携を密にする。

### 3 人材の確保

昨年度から労働局推奨の「キャリアアップ」制度に参画し非正規雇用の労働者を正規雇用へ転換を図りました。また介護福祉機器の導入を図り職員の介護負担の軽減を図りました。今年度も職員の意欲・能力を向上させ優秀な人材の確保・育成のために継続してゆく。

### 4 施設整備について

利用者が安心・安全・快適に生活出来るように、環境整備、施設設備機器の計画的修繕や、不測の事態に対応しご家族が安心して預けられるように努める。

### 5 上里町リハビリ体操送迎事業について

かみさとナーシングホームと連携して週1回利用者の送迎を行う。

## 平成29年度 かみさとデイサービスセンター事業計画

本年度も昨年度同様理学療法士によるリハビリを強化するとともに、利用者のニーズを把握しより良いサービスを提供し利用者増加に努めます。

上里町が行う総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）に積極的に参加し、地域に根ざしたデイサービスとして事業に取り組んでいきます。

## 平成29年度 かみさと居宅介護支援事業所事業計画

利用者様が住み慣れた地域で、安心して満足の得られる生活を重視したプランを提供し支援させていただきます。

介護支援専門員を1名増加し、地域行政等関係各機関と密接な連携を図り、利用者の増加に繋がります。

## 平成 29 年度 ルピナス神川ホーム事業計画

全事業において「利用者主体の福祉サービス」を基本方針と捉え、生活の質の向上と社会参加の促進を目指します。

また、今年度は働きがいのある職場作りと人材育成、確保に向けた取り組みを検討して参ります。

本年度の重点目標は次のとおりとします。

### ○ 生活介護、入所支援の充実

日中のユニット活動（生活訓練、デイサービス、やすらぎ）を活性化し、主体性の向上や生活面の充実に努めて参ります。

また、利用者様の意向を踏まえ、生きがいのもてるライフスタイル（個別支援計画）の作成に努めて参ります。

### ○ 地域への生活移行（自立）の実現

相談支援事業所（ルピナス神川ホーム）と連携し、地域で生活が送れるよう環境整備や自己の能力向上に努めて参ります。

### ○ 働きがいのある職場作りと人材育成

個人の能力を最大限に発揮できるやりがいのある職場作りと人材の育成に努めて参ります。なお、取り組みの一環として制服についても刷新していきたい。また、福祉ニーズの多様化に対応できるよう各種研修会に参加させるとともに、資格取得や職員のスキルアップの向上を図ります。

### ○ 社会貢献への積極的努力

地域で困っている方の短期入所（空床型）の受入れを積極的に行います。

また「彩の国あんしんセーフティーネット」事業についても継続的に実施します。

### ○ 災害（火災等）防止対策の強化

災害に対する意識を高め、防災器具、非常食等の点検整備及び定期的な訓練を実施し、有事に備えた安全対策を努めて参ります。

### ○ リスクマネジメント体制の強化及び指導

日頃からの危機管理に対する意識を持ち、介護事故の防止や感染症予防に努めて参ります。また虐待についての認識を深めるため、虐待防止に対する職員の指導教育にも、県研修委員の立場を活用して努めて参ります。

### ○ 数値目標

稼働率	定員 50 名	95%	平均支援区分 5.4	前年度同様
短期入所（空床型）			前年度比	同様
相談支援事業所	100 名		対前年度比	3 名増

## 平成29年度介護老人保健施設かみさとナースィングホーム事業計画

当施設は、老朽化してきている建物を今後4年間かけて、利用者の施設生活改善のために、下記項目について計画的に大規模修繕を予定します。予算的には多額な費用を要するために、ルピナス園より資金を調達(借入)し、現在の設備資金を完済後、今回の資金返済を行い(5年間)施設の財政面の安定を図ります。事業方針としては、地域包括ケアを推進するため地域に根ざした施設運営を心掛け、地域高齢事業者との競争よりも共栄を図り、多職種が在職する当施設(老健)が中心となり、埼玉県北部の地域福祉を充実させます。

### ※最重点課題

大規模修繕計画(総費用1500万円予定)

- ①ボイラー交換工事
- ②特浴交換工事(補助金300万円予定)
- ③ベットのキャスター交換
- ④3階ナースコール交換工事
- ⑤電話交換工事

### 1. 基本方針

- ①リハビリテーション施設(3か月間毎日リハビリテーション)
- ②在宅復帰施設(目標50%)

### 2. 稼働率等に関する数値目標

利用者定員 80名(内空きベット利用ショートステイ)

通所定員 20名

年間稼働率目標 93% 年間介護度平均 3.0(全国平均介護度3.1)

### 3. 課題別重点計画

- ①上里町を元気にする活動の一環として、特定行政区をモデルとした健康体づくりを支援します。(上里町委託業務・月4回程度)ルピナス園と共同事業
- ②施設内感染(インフルエンザ・ノロウイルス)等の予防(加湿)を行い、施設内感染予防を防止します。
- ③施設職員のキャリアアップのために、施設内外の研修に積極的に参加します。(事故防止委員会・虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会)
- ④事業継続計画(BCP・business continuity planning)に基づき、災害訓練を行います。

### 4. 諸行事等

- ①家族介護教室 年3回(上里町広報でお知らせします)
- ②職員研修 全国介護老人保健施設 愛媛大会研究発表

埼玉県介護老人保健施設大会研究発表

## 平成 29 年度かみさとナーシングステーション事業計画

### 1. 運営方針

昨年度の法改正より、報酬単価の引き下げにより事業運営が、年々厳しくな  
ってきております。従来の事業を継続しているだけでは、介護報酬は増加しま  
せん。そこで、各種介護事業者（ケアハウス・サ高住）と協力して、同一建物  
での身体介護中心に取り組んでまいります。

### 2. 体制

事業所加算Ⅱ

常勤職員 3 名

非常勤職員 1 名

処遇改善加算Ⅰ（13.7%）参考 昨年度 8.6%

### 3. サービス方針

- ①身体支援を重点に置く。
- ②自立に向けた総合支援

### 4. その他

- ①災害発生訓練を実施（老健と同時）
- ②車両管理徹底（毎月の管理）  
交通事故防止対策の徹底

## 平成 29 年度 ルピナス鴻巣ホーム事業計画

平成 29 年度は質の高いサービスを利用者に提供することを基本方針に、利用者及び職員の安心と安全の確保ができる事業を実施します。このことから重点目標は次のとおりとします。

### 1 質の高いサービスの提供

利用者の生活ニーズの的確な把握と尊重により、生きがい実践できる支援に努めます。

また、感覚刺激空間を用いてリラクゼーション活動を提供するスヌーズレンについて、更に利用者支援の強みとなるよう資器材の充実に努めます。

### 2 職員研修の充実

利用者への支援を充実させるため各種研修を受講し、職員の能力向上に努めます。

また、ルピナス鴻巣ホームが取り入れている「ソーシャル・スキル・トレーニング(人が社会でほかの人と関わりながら生きていくためのコミュニケーション・スキルを身に付ける訓練)」に引き続き取り組んでいきます。

### 3 施設整備

浄化槽の老朽化により浄化槽内が破損していることから浄化槽内の工事及び腐食した蓋の交換工事を早急に実施します。

計画的なクリーン活動や破損部分に対する早期補修に心掛け、快適な施設運営に心掛けます。

### 4 災害等に対する対策

年 3 回の防火避難訓練及び昨年度から実施した「刺す股」を使用した不審者対策訓練を計画的に実施します。

昨年度策定した「非常災害対策計画」の随時見直しと非常災害対策訓練を実施します。

### 5 社会貢献活動への継続実施

彩の国あんしんセーフティーネット事業を引き続き継続し、地域から頼れる施設としての信頼が得られるように事業を実施します。

### 6 制服の着用

ルピナス神川ホームと連携して新たな制服を選定し、融和団結の精神を図っていきます。

### 7 数値目標

稼働率	定員	50 名	95%	平均区分	5.1	前年度同様
短期入所	2 名		40%	対前年度比	2%増	
相談支援事業所			98 名	対前年度比	10 名増	